

科目コード	ナンバリング	単位数	学期	授業区分	科目区分	履修区分	学年
410021	XYY2410021			国際学部国際文化学科	×	×	×
授業科目	担当教員			国際学部国際文化学科英語集中コース	×	×	×
				情報文化学部情報文化学科	×	×	×
情報処理演習U2①	高木 義和. 上西園 武良. 近山 英輔	2	前期	情報文化学部情報システム学科経営コース(26年度以降)	専門	選択必修	1年
				情報文化学部情報システム学科情報コース(26年度以降)	専門	選択必修	1年
				情報文化学部情報システム学科経営コース(25年度)	専門	選択必修	1年
				情報文化学部情報システム学科情報コース(25年度)	専門	選択必修	1年
				情報文化学部情報システム学科(24年度以前)	専門	選択必修	1年

#### 授業目的

Access, VB, SQLについて学ぶ。これらの言語はWord, Excelと同様にコンピュータ上で稼働するアプリケーションソフトウェアであるが、これらの言語を使用すると、さらに新たなアプリケーションソフトやデータベースを容易に作り出すことができる。この演習ではコンピュータの利用者が使用できるレベルの高いアプリケーションソフトウェアの使い方を習得する。

#### 各回毎の授業内容

##### 第1回

【授】Access 1  
Accessの概要・オリエンテーション

【前・後】課題提出1

##### 第2回

【授】Access 2  
オブジェクトの作成

【前・後】課題提出2

##### 第3回

【授】Access 3  
リレーションシップとコンボボックス

【前・後】課題提出3

##### 第4回

【授】Access 4  
クロス分析とデータベースの正規化

【前・後】課題提出4

##### 第5回

【授】Access 5  
全体のまとめ、Access理解度テスト

【前・後】前回の講義ノートを見直しておくとともに、授業中に指示したテキストもしくは配付資料の該当箇所を熟読しておくこと。

##### 第6回

【授】VBによるプログラミング1  
VBについて、プログラミングの基礎

【前・後】教科書で実施内容を確認する。

##### 第7回

【授】VBによるプログラミング2  
計算の仕方

【前・後】教科書で実施内容を確認する。

##### 第8回

【授】VBによるプログラミング3  
コントロールの使い方

【前・後】教科書で実施内容を確認する。

##### 第9回

【授】VBによるプログラミング4  
グラフィックスの使い方

【前・後】教科書で実施内容を確認する。

##### 第10回

【授】VBによるプログラミング5  
全体のまとめ、VB理解度テスト

【前・後】前回の講義ノートを見直しておくとともに、授業中に指示したテキストもしくは配付資料の該当箇所を熟読しておくこと。

##### 第11回

【授】SQLによるRDBの操作1  
データ操作言語(DML)の利用

【前・後】課題提出1

##### 第12回

【授】SQLによるRDBの操作2  
データの照会 SELECT文によるデータの取り出し

【前・後】課題提出2

##### 第13回

【授】SQLによるRDBの操作3

データの照会 FROM節、WHERE節、GROUP BY節、ORDER BY節

【前・後】課題提出3

##### 第14回

【授】SQLによるRDBの操作4  
表の作成

【前・後】課題提出4

##### 第15回

【授】SQLによるRDBの操作5

全体のまとめ、SQL理解度テスト

【前・後】前回の講義ノートを見直しておくとともに、授業中に指示したテキストもしくは配付資料の該当箇所を熟読しておくこと。

##### 第16回

【授】期末試験は実施しない

#### 成績評価方法

	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	強調・指導力	発表・表現	その他	評価割合(%)
定期試験							
小テスト・授業内レポート							40
宿題・授業外レポート							60
授業態度・授業への参加							
成果発表(口頭・実技)							
演習							
その他							

授業内に提出されたレポートの評価を演習点とする。40%

宿題で提出されたレポートの評価を課題点とする。60%

#### 教科書参考書

教科書を配布する。

#### 受講に当たっての留意事項

Access, VB, SQLの順序は確定ではありません。

前期・後期・年度によって順序は変動することがあるので演習開始時に予定表を配布します。

演習内容は5回連続しているが欠席しても時間中に補講などはできないので欠席しないこと。

#### 学習到達目標

コンピュータの利用者が利用できるレベルの高いアプリケーションソフトウェアの使い方を習得する。

アプリケーションがどのように開発されるかを理解する。

JABEE

関連する学習・教育到達目標: C, D

【授】: 授業内容【前・後】: 事前・事後学習

科目コード	ナンバリング	単位数	学期	授業区分	科目区分	履修区分	学年
410021	XYY2410021			国際学部国際文化学科	×	×	×
授業科目	担当教員			国際学部国際文化学科英語集中コース	×	×	×
				情報文化学部情報文化学科	×	×	×
情報処理演習U2②	高木 義和 宇田 隆幸 近山 英輔	2	後期	情報文化学部情報システム学科経営コース(26年度以降)	専門	選択必修	1年
				情報文化学部情報システム学科情報コース(26年度以降)	専門	選択必修	1年
				情報文化学部情報システム学科経営コース(25年度)	専門	選択必修	1年
				情報文化学部情報システム学科情報コース(25年度)	専門	選択必修	1年
				情報文化学部情報システム学科(24年度以前)	専門	選択必修	1年

#### 授業目的

Access, VB, SQLについて学ぶ。これらの言語はWord, Excelと同様にコンピュータ上で稼働するアプリケーションソフトウェアであるが、これらの言語を使用すると、さらに新たなアプリケーションソフトやデータベースを容易に作り出すことができる。この演習ではコンピュータの利用者が使用できるレベルの高いアプリケーションソフトウェアの使い方を習得する。

#### 各回毎の授業内容

##### 第1回

【授】Access 1  
Accessの概要・オリエンテーション  
【前・後】課題提出1

##### 第2回

【授】Access 2  
オブジェクトの作成  
【前・後】課題提出2

##### 第3回

【授】Access 3  
リレーションシップとコンボボックス  
【前・後】課題提出3

##### 第4回

【授】Access 4  
クロス分析とデータベースの正規化  
【前・後】課題提出4

##### 第5回

【授】Access 5  
全体のまとめ、Access理解度テスト  
【前・後】前回の講義ノートを見直しておくとともに、授業中に指示したテキストもしくは配付資料の該当箇所を熟読しておくこと。

##### 第6回

【授】VBによるプログラミング1  
VBについて、プログラミングの基礎  
【前・後】教科書で実施内容を確認する。

##### 第7回

【授】VBによるプログラミング2  
計算の仕方  
【前・後】教科書で実施内容を確認する。

##### 第8回

【授】VBによるプログラミング3  
コントロールの使い方  
【前・後】教科書で実施内容を確認する。

##### 第9回

【授】VBによるプログラミング4  
グラフィックスの使い方  
【前・後】教科書で実施内容を確認する。

##### 第10回

【授】VBによるプログラミング5  
全体のまとめ、VB理解度テスト  
【前・後】前回の講義ノートを見直しておくとともに、授業中に指示したテキストもしくは配付資料の該当箇所を熟読しておくこと。

##### 第11回

【授】SQLによるRDBの操作1  
データ操作言語(DML)の利用  
【前・後】課題提出1

##### 第12回

【授】SQLによるRDBの操作2  
データの照会 SELECT文によるデータの取り出し  
【前・後】課題提出2

##### 第13回

【授】SQLによるRDBの操作3  
データの照会 FROM節、WHERE節、GROUP BY節、ORDER BY節  
【前・後】課題提出3

##### 第14回

【授】SQLによるRDBの操作4  
表の作成  
【前・後】課題提出4

##### 第15回

【授】SQLによるRDBの操作5  
全体のまとめ、SQL理解度テスト  
【前・後】前回の講義ノートを見直しておくとともに、授業中に指示したテキストもしくは配付資料の該当箇所を熟読しておくこと。

##### 第16回

【授】期末試験は実施しない

#### 成績評価方法

	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	強調・指導力	発表・表現	その他	評価割合(%)
定期試験							
小テスト・授業内レポート							40
宿題・授業外レポート							60
授業態度・授業への参加							
成果発表(口頭・実技)							
演習							
その他							

授業内に提出されたレポートの評価を演習点とする。40%

宿題で提出されたレポートの評価を課題点とする。60%

#### 教科書参考書

教科書を配布する。

#### 受講に当たっての留意事項

Access, VB, SQLの順序は確定ではありません。

前期・後期・年度によって順序は変動することがあるので演習開始時に予定表を配布します。

演習内容は5回連続しているが欠席しても時間中に補講などはできないので欠席しないこと。

#### 学習到達目標

コンピュータの利用者が利用できるレベルの高いアプリケーションソフトウェアの使い方を習得する。

アプリケーションがどのように開発されるかを理解する。

JABEE

関連する学習・教育到達目標: C, D

【授】: 授業内容【前・後】: 事前・事後学習